

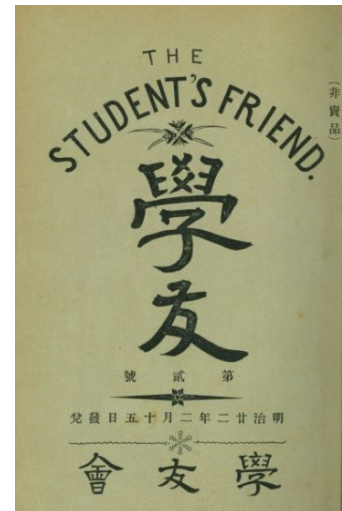
学内組織の創設

学友会の成立と「学友」創刊

学内の新興機運の高まりと、中央学会での学術文芸雑誌の刊行の影響を受けて、明治21(1888)年12月、「学友会」が組織された。当時の会則には、学術を研究し知識を交換し友誼を厚くすることを目的とするとうたわれている。

翌年には、月刊雑誌「学友」が創刊され、学術論文の他、文芸や学内の雑報などが掲載された。

その後、学友会は一時門戸を校外にまで広げ、名称を「山口県学友会」としたが、明治26年、「山口高等中学校学友会」と改称し、会員を「本校生徒並に本校と関係ある者」とし、学内団体としての性質を明らかにした。



「学友」表紙

同窓運動会

○同窓運動會 今回山口高等中學校生徒相謀り同窓運動會を設立し校長河内信朝君之の會長とかり過る二月十一日紀元節同校運動場於て第壹回春季大運動會を舉行せられたる此日夜來の積雪三四寸曉天猶雪色を帯びたるも漸々天氣回復し午前九時全校生徒紀元節祝賀を畢り午後零時卅分銃劍兵裝運動場に出て同生徒の作に係る春季大運動會餘興歌を高吟し是より全生徒を二隊に分ち對向射撃を行ひ畢て「ローンテニス」鉛丸投福飛高飛旗取圍旋「ベースボール」等の遊技あり此間校外有志者の擊劍數回を挟み「フットボール」繩引等々運動あり優等者に賞品を與へ午後四時二十分解散せり當日の運動は全員を赤白二群に分ち「フットボール」の勝者には美麗なる賞旗を與る筈ありしも勝敗決せず爲に之を他日に延すととみれり此日は大日本憲法發布の大佳

「学友」掲載の同窓運動会の記事(抜粋)

記事からは当日の天候や競技の様子がうかがえる

学友会に次いで、明治22年、体育の奨励を目的として同窓運動会が創立された。2月11日の紀元節には憲法発布式の祝賀を兼ねて第1回大運動会を開催した。以降、春秋に大運動会、毎月遠足登山等を行った。

明治24年には、「山口高等中学校同窓運動会」と改称し、職員生徒は会員となることを義務とした。これ以降、運動会は毎年紀元節か卒業式当日に行われたが、蹴球、野球等各部が発展するにしが、相互の対立が生じるようになった。寄宿舍事件の影響もあり校内の各種団体の指導に一層注意をはらう必要があったため、明治27年には会則を改正し各部の対立を一掃し、さらに学生の体育向上と心身鍛錬に資することとなった。